

# カジノ予算3.億円増

## 管理委概算要求 人員さらに膨張

岸田文雄政権が固執するIR（カジノを中心とする統合型リゾート）で、国内74人体制になります。

のカジノ統制機関となる内閣府の外局・カジノ管理委員会が8月31日、概算要求を決めました。予算、人員ともさらに膨張しています。

の10人増員を要求。この結果、「日本の魅力を世界に発信する観光拠点になる」と胸を張りました。

カジノ管理委員会が2020年1月に設置されてから3年余。世論の強い反対にさらされたIR計画は国際的議論から遅れに遅れています。統制すべきカジノが無いなかで、カジノ管理委員会は多大な予算と人員を無駄に浪費するだけの存在になっています。

予算概算要求では、前年度予算額から3・8億円増の40億円を要求。人件費等と人員を無駄に浪費するだけで1・9億円増、カジノ事業者監督体制の整備で1億円増、海外規制当局との協力関係構築で1・4億円増などとなっています。

定員要求では事務局職員50人増の55人を要求。この結果、「日本の魅力を世界に発信する観光拠点になる」と胸を張りました。

カジノ管理委員会は、インターネット上に仮想カジノを開帳するオンラインカジノに主力を移し、巨大な地上型カジノを中心にして観光施設をつくるというIRは完全に時代遅れになっています。